









(以下の事項について該当・非該当のどちらかに○印を付けてください。)

1 日本国籍を有しない者	該当・非該当
2 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者	該当・非該当
3 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者	該当・非該当
4 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者	該当・非該当

以上の記載事項について、誤りのないことを確認します。

令和 年 月 日

氏 名 ㊟

### 履歴書記載に関する注意事項

- 1 学歴については、原則として最終学歴を記載する。
- 2 資格については、具体的に記載する（例：司法試験第二次試験、証券外務員資格取得、ファイナンシャル・プランナー資格取得、日本証券アナリスト協会検定会員、TOEIC750点など）。
- 3 「志望動機」欄については、当局を志望した動機及び自己PRを記載する。
- 4 「これまでの職務経験の内容」については、職務内容（主な担当案件を含む。）及び期間等を具体的に記載する。
- 5 記載内容が本様式の各欄に収まらない場合は、別紙(A4判用紙に限る。)に記載の上、添付する。